

質 疑 応 答 書

水企総 第 2019-4 号

調達サービス (件名) : 仙台市水道局財務会計システム構築・運用保守業務委託

		整理番号	1	9	3	0	7	4	
質 問 事 項		回 答							
1	<p>調達仕様書</p> <p>8.本システム開発要件</p> <p>8.1.2 サーバ機器</p> <p>仮想化基盤サーバにつきまして、提供できる CPU のコア数、メモリ、ディスク容量の性能をどれくらいでしょうか。仮にいただいた回答で性能が足りない場合、基盤サーバの容量追加は可能でしょうか。</p>	<p>・仮想マシン (財務会計システム) の現状は次のとおりであり、これに準じた容量を想定しています。</p> <p>コア数 : 2</p> <p>メモリ : 8GB</p> <p>ディスク容量 : 200GB</p> <p>また、基盤サーバの容量追加は行わない想定です。上記の性能に不足がある場合は、現状の範囲内で、今後稼動する仮想マシンとの兼ね合いを考慮しながらのご相談となります。</p>							
2	<p>調達仕様書</p> <p>8.本システム開発要件</p> <p>8.1.3 ソフトウェア構成</p> <p>(1) 調達範囲</p> <p>OS における PC 接続する台数分のライセンス (CAL) につきましても本調達の範囲に含まれますでしょうか。</p>	<p>・Windows Server 2016 以前の Windows Server に必要な CAL は調達済です。</p>							
3	<p>調達仕様書</p> <p>8.本システム開発要件</p> <p>8.1.3 ソフトウェア構成</p> <p>(1) 調達範囲</p> <p>バックアップソフトウェアに関して、「8.1.2 サーバ機器 (2) バックアップ装置」において、貴庁でご用意いただいたものを使用とございますが、どのような機器 (HDD、NAS、LTO 等) を使用することをご想定でしょうか。</p>	<p>・現行と同様に LTO を使用することを想定しています。</p>							
4	<p>調達仕様書</p> <p>8.本システム開発要件</p> <p>8.1.3 ソフトウェア構成</p> <p>(1) 調達範囲</p> <p>バックアップソフトウェアに関して、現在弊社ではバックアップ装置によっては、OS 標準のバックアップソフトウェアを使用することを想定しておりますが、専用のソフトウェアによる暗号化等は必要になりますでしょうか。</p>	<p>・現在使用中のソフト (Veritas Backup Exec 16) を使用することを想定しています。暗号化等は不要と考えています。</p>							
5	<p>調達仕様書</p> <p>9.運用保守業務</p> <p>9.3.1 運用支援</p> <p>(1) システム運用支援</p> <p>本仕様書の内容から、電話・メール・FAX・現地訪問に</p>	<p>・本システムは外部環境から遮断されたものとなっているため、リモート保守は対応不可となっています。</p>							

	<p>よるサポートの他、保守の迅速性を高めるために、弊社から貴庁へのリモート保守を提案することが可能です。今回のご提案を考慮し、VPNによる回線とリモート保守用の端末を設置し、サーバへのメンテナンスを行うことが可能です。</p> <p>つきましては、リモート保守自体の対応可否及びリモート保守をするための機器設置を認めていただくことは可能でしょうか。</p>	
6	<p>システム機能要件等一覧 No379</p> <p>名寄せにつきまして、契約事務で登録された業者情報の名寄せは、「業者一覧に表示された情報で同一業者と判断できるものを一つにまとめる処理」と考えております。つきましては、以下の点についてご教示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名寄せの処理につきましては、処理の時期として、年度更新時期に同一業者があった場合に、1つの業者情報としてまとめる考え方でよろしかったでしょうか。 ・名寄せ後は、同一業者を1つの業者にまとめることにより、まとめた先に実績や契約案件が統合され、元々あった業者番号は、使用できなくなる考え方でよろしいでしょうか。 ・名寄せ後における過年度の実績についても一つの業者にまとめる考え方でよろしいでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名寄せにつきましては、「業者一覧に表示された情報で同一業者と判断出来るものを一つにまとめる処理」ではなく、指名競争入札案件について、同じ業者が、いくつかの発注案件について指名を行う場合に業者毎に発注案件一覧を作成するものです。従って、年度毎の取りまとめや契約案件の統合を行う必要はありません。 ・上記と同様、過去の案件の実績についてもまとめる必要はありません。
7	<p>「09_提供データ移行仕様」の2.移行データ概要(6) 支出・収入・振替伝票(付随する予定負担・支出負担を含む)について、移行されるデータは単に過去履歴として移行するのではなく、今後の未来の起票時に引用条件を満たす場合にそれを参照作成元データとして利用可能とすると認識してよろしいでしょうか。</p>	<p>・お見込みのとおりです。</p>

注1 この質疑応答書は、仕様書等に対して質問がある場合(入札・見積に必要な事項に限る。)にのみ提出して下さい。会社名を記入する必要はありません。

注2 提出期間を過ぎた場合は、受理しません。